

自己点検・自己評価表（令和5年度）

1. 学校の教育目標

本学園の建学の精神である「私たちの学ぶ技術は、芸術であり、科学であり、職業でもある」を基盤にして「心ある、そして考える医療人を育てる」という教育理念のもと、学生一人ひとりの個性を大切に、対象となる人々に寄り添い相手を慮る（おもんばかり）心を育み、また、常に多角的な視点から思慮深く考え、共創の心をもって医療を実践できる能力を育てる。

目標を達成するために、生命の尊厳と個々の人格の尊重を基盤とした豊かな感性と幅広い教養を身に付けた「人間性の教育」、理論的思考・深い洞察力と判断力により、主体的・創造的に医療を実践できる「専門性の教育」、地域の保健ニーズを理解し、保健医療福祉チームの一員として、組織的に支援できる「社会性の教育」、学問への探求心とその向上・発展に貢献できる「向上性の教育」に注力し教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 財務基盤の安定化を図る

- 1) 法人収益構造の再構築を検討する
 - (1) 学科再編、定員の見直しを検討する
 - (2) 新規事業の検討（訪問看護ステーション等）を行う
- 2) 入学定員充足を図る
- 3) 退学者の低減を図る
- 4) 学納金以外の収入増を目指す
 - (1) 収益事業の収入増を目指す（外国人材の育成、介護教育・日本語教育の拡大）
 - (2) 付随事業の収入増を目指す
 - (3) 寄付金・補助金の獲得を目指す
- 5) 経費削減を図る

2. 学習サービスの品質向上を図る

- 1) 教育力・対応力の向上を図る
- 2) 教育の ICT 化を図る
 - (1) ICT 教育の推進体制を構築する
 - (2) オンライン教育の充実を図る

3. 学校運営組織の強化を図る

- 1) 学校評価を推進し改善を図る
- 2) ガバナンス体制を強化する
 - (1) 理事会・評議員会の機能を強化する
 - (2) 人事報酬委員会の機能を強化する
 - (3) コンプライアンスを遵守する
 - (4) ハラスメントのない職場を目指す
- 3) 人事評価制度を確立する
 - (1) 新人事評価制度を運用する
 - (2) 人財育成を強化推進する

4. レジリエンスの向上を図る

- 1) 災害・感染に対する対策の強化を図る
- 2) BCP（事業継続計画）を策定する

3. 評価項目の達成、取り組み状況

1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	4: 適切	3: ほぼ適切	2: やや不適切	1: 不適切
理念・目的・育成人材像は定められているか。	④	3	2	1
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	③	2	1
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	③	2	1
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・入学定員割れが生じており、育成人材像や教育活動等、社会のニーズを踏まえた将来構想の見直しを検討する必要がある。
- ・教育理念、目的、育成人材像はホームページで、学校案内、体験入学等で周知しているが、より広く周知していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・高校訪問、ガイダンスを通じて入学希望者、高校の進路指導者に、保護者会を通じて保護者に教育理念・育成像を周知していく。

③ 特記事項

- ・新年度会で説明された理念や将来構想の内容を学内ポータルサイトに掲載し、教職員がいつでも閲覧できるようにした。

2. 学校運営

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
理念に沿った運営方針を定めているか	4	③	2	1
理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	③	2	1
設置法人の組織運営を適切に行っているか	④	3	2	1
学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
人事・給与に関する制度を整備しているか	4	③	2	1
意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1
情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・ 少子化の影響で今後の学生募集は厳しくなると予想されるため、しっかりとした事業計画の策定が必要。
- ・ 人事評価の期末評価が実施できなかった。

② 今後の改善方策

- ・ 中期計画において、今後の学校運営の方向性を示していく。
- ・ 改革推進プロジェクトを中心に全職員協力のもと、募集改善に努める。

③ 特記事項

- ・ 学校及び各部署で事業計画を策定し、教職員に周知している。
- ・ 経営会議を週一回で実施し、法人運営について協議した。

3. 教育活動

評価項目	4: 適切	3: ほぼ適切	2: やや不適切	1: 不適切
理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1
学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④	3	2	1
教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	③	2	1
キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
授業評価を実施しているか	④	3	2	1
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	④	3	2	1
資格・免許取得の指導体制はあるか	④	3	2	1
資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
教員の資質向上への取組みを行っているか	4	③	2	1
教員の組織体制を整備しているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・教育課程編成委員会を開催し、業界、卒業生から意見聴取し、社会のニーズに対応したキャリア教育を実践する必要がある。
- ・入学者の学力にバラつきがあり、入学後の基礎学力向上が課題となる。

② 今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会を開催し、社会のニーズを踏まえたカリキュラムを検討していく。
- ・入学前教育の内容を見直し、入学後の学習につなげられるよう検討する。資格取得に向けては体系的な授業を行いつつも、現状の学生に合わせた工夫が必要。

③ 特記事項

- ・特になし

4. 学修成果

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
資格・免許の取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
卒業生の社会的評価を把握しているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・就職担当部署がないため、情報の一括管理ができていない。
- ・全ての卒業生の動向を把握できていない。

② 今後の改善方策

- ・教務と学生事務課で学生の就職活動の情報共有を強化する。
- ・資格取得率向上に向けて国家試験対策、模試、個別指導の強化が必要。

③ 特記事項

- ・東洋医療総合学科では、就職先を一堂に会して就職ガイダンスを実施した
- ・リハビリテーション学科では、随時施設の方をお招きして就職ガイダンスを実施した。
- ・看護学科では、1年次から学内で就職ガイダンスを実施している。
- ・国家試験の合格率は、リハビリテーション学科 81.4%、東洋医療総合学科 1 部あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師 100%、きゅう師 100%、東洋医療総合学科 2 部あん摩マッサージ指圧師 93.3%、はり師 93.3%、きゅう師 93.3%、看護学科二年課程（通信制）80.9%であった。

5. 学生支援

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制を整備しているか	④	3	2	1
留学生に対する相談体制を整備しているか	4	③	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	③	2	1
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	④	3	2	1
学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	③	2	1
保護者との連携体制を構築しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制を整備しているか	4	③	2	1
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	③	2	1

① 課 題

- ・ 学年担任を配置し、早い段階から個人面談の実施、学習サポートを行っているが退学者の減少につながっていない。
- ・ 学生相談室を設置しているが、相談室と学科で密な連携はできていない。

② 今後の改善方策

- ・ 来年度より学則を変更し、休学時や再履修時の納入金の見直しを実施する。
- ・ 学生アンケートを実施した結果を各学科に開示し、改善を図っていく。
- ・ 奨学金を借りる学生が多い中で、学校独自の奨学金制度を検討していく。

③ 特記事項

- ・ 改革推進プロジェクトを立ち上げ、退学者軽減に向けた活動を行った。
- ・ 保護者会の実施（看護学科、リハビリテーション科）
- ・ 履歴書添削、模擬面接の実施
- ・ 求人票検索システム JOBnavi の運営

6. 教育環境

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④	3	2	1
学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・Wifi が設置されていない。
- ・新型コロナ発生以降、外部に教室貸出ができていない。

② 今後の改善方策

- ・Wifi 設置に向けて予算計上していく。
- ・新型コロナウイルスが 5 類となったことにより、学外実習や外部への教室貸出を可能な範囲で実施していく。
- ・防災訓練が実施できていないため、防災訓練を実施していく。

③ 特記事項

- ・前年度に引き続き、大田区との防災協定を締結した。
- ・建物の美化点検、設備更新の様子を学内ポータルサイトに掲載した。

7. 学生の募集と受け入れ

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	③	2	1
学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4	③	2	1
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④	3	2	1
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	④	3	2	1

① 課 題

- ・継続的に高校訪問ができる体制がとれていない。
- ・学科の取組み、強みをホームページに掲載、体験入学等で説明しているが、受験につながっていない。

② 今後の改善方策

- ・定期的に高校訪問し、学校の認知度を上げるとともに、イベント情報や入試情報を周知する。
- ・次年度より入試出願を Web 上で可能なシステムを導入し、入試を受験しやすいようにする。

③ 特記事項

- ・外部コンサルタントを導入し、広報体制を強化するとともに学校の今後の方向性を検討した。
- ・広報室を学校長直轄とし、各学科との連携を強化した。

8. 財 務

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	③	2	1
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	③	2	1
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	②	1

① 課 題

- ・ 入学者の減少により学納金収入が減少する。
- ・ 退学者は前年度と比較して減少したが、依然として多い。
- ・ 財務状況を公開できていない。
- ・ 部署単位で経費管理を行っていない。

② 今後の改善方策

- ・ 退学者防止では、改革推進プロジェクトによる学則変更により、一定の効果がでた。
- ・ 次年度は徹底した経費削減を行い、経費削減目標を定め進捗状況を管理する。また備品購入時は学校長が承認する体制をとる。
- ・ 学生募集では、数値目標を明確にし、管理職会議で現状を共有していく。
- ・ 広く寄付金を募り、資金調達していく。

③ 特記事項

- ・ 特になし

9. 法令等の遵守

評価項目	4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	3	②	1
自己評価結果を公表しているか	4	3	②	1
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	3	2	①
学校関係者評価結果を公表しているか	4	3	2	①
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・ 自己評価、学校関係者評価の実施がなされていない。

② 今後の改善方策

- ・ 自己評価、学校関係者評価の実施体制を整え、毎年度取り組んでいく必要がある。
- ・ 授業の様子やイベント等、学校の教育活動を外部に向けて積極的にホームページ等で発信していく。

③ 特記事項

- ・ ハラスメント研修を実施した。
- ・ 個人情報の保護に関する規程を学内ポータルサイトに掲載している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	4: 適切	3: ほぼ適切	2: やや不適切	1: 不適切
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
国際交流に取り組んでいるか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	③	2	1

① 課 題

- ・ 新型コロナ発生以降、海外研修を実施できていない。
- ・ 学校としてボランティア活動に関する窓口を設置していない。

② 今後の改善方策

- ・ 留学生受け入れ体制を確立する必要がある。

③ 特記事項

- ・ 東洋医学健康講座の開催
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催
- ・ 学園祭での大森健康ファクトリーの開催
- ・ 大田ユニバーサル駅伝への参加
- ・ 大田区民大学の開催

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1. 財務基盤の安定化を図る

1) 法人収益構造の再構築を検討する

(1) 学科再編、定員の見直しを検討する

→ 外部コンサルタントを導入し、法人全体の見直しをした結果、東洋科においてはコース制設置を検討したが、設置には至らなかった。

(2) 新規事業の検討（訪問看護ステーション等）を行う

→ 訪問看護ステーションの開設を検討したが、今年度は見送りとなった。

2) 入学定員充足を図る

→ 外部コンサルタントを導入することで募集改善に取り組みをした。

3) 退学者の低減を図る

令和5年9月より改革推進プロジェクトを立ち上げ、退学者低減に向けて教職員及び学生アンケートの実施、学則変更を行った結果、一定の効果をを得ることができた。

4) 学納金以外の収入増を目指す

(1) 収益事業の収入増を目指す（外国人材の育成、介護教育・日本語教育の拡大）

→ 人材育成センターが主となり、外国人材の育成、介護教育・日本語教育の拡大収益事業に取り組んだ。

(2) 付随事業の収入増を目指す

(3) 寄付金・補助金の獲得を目指す

→ 今年度は取り組みが出来なかったため、次年度獲得に向けて行動する。

5) 経費削減を図る

→ 入学者数の減少により経費削減に努めたが、次年度はより計画的な経費削減に努める

2. 学習サービスの品質向上を図る

1) 教育力・対応力の向上を図る

2) 教育の ICT 化を図る

(1) ICT 教育の推進体制を構築する

→ 電子教科書導入の準備を進めたが、導入までには至らなかった。

(2) オンライン教育の充実を図る

→ ICT 化に向けては、学内 Wifi が未整備のため、次年度設置できるよう予算計上していく。

3. 学校運営組織の強化を図る

1) 学校評価を推進し改善を図る

→ 学校として自己点検を実施し、第三者評価を受けられるよう体制作りしていく。

2) ガバナンス体制を強化する

(1) 理事会・評議員会の機能を強化する

→ 法人監査を強化することで理事会・評議員会を適切に実施した。

(2) 人事報酬委員会の機能を強化する

- 人事評価結果を集約し、賞与・昇給への反映を検討したが、期末評価が実施できていない。
次年度報酬制度の抜本的見直しが必要。

(3) コンプライアンスを遵守する

(4) ハラスメントのない職場を目指す

- 教職員にハラスメント研修を実施した。

3) 人事評価制度を確立する

(1) 新人事評価制度を運用する

(2) 人財育成を強化推進する

- 新たな人事評価制度を導入し期中は実施したが、期末は見送りとなった。次年度は実施に向けた度検討が必要。

4. レジリエンスの向上を図る

1) 災害・感染に対する対策の強化を図る

- 災害に備えた備蓄はできており、今後は定期的に備蓄管理、防災訓練を実施していく。

2) BCP（事業継続計画）を策定する

- 危機管理マニュアルは策定できており見直しを行った。次年度以降、緊急時の指示命令系統、役割分担を決めていく。